

## 1 おたからパン



- ① 真珠まりこ/作・絵
- ② ひさかたチャイルド
- ③ 1200円
- ④ E

おたからパンの「たから」を目当てにしのびこんだおところは、親方に見つかって、一緒に働くことになります。毎日毎日パンを作り続けたおとこが、とうとう手にした「たから」とは・・・？一生懸命働くことの大切さに気付かされる一冊です。

## 2 おばあちゃんのあかいマント



- ① ローレン・カスティヨ/さく  
たがきょうこ/やく
- ② ほるぷ出版
- ③ 1500円
- ④ E

おばあちゃんが住んでいる大きな街は怖いものでいっぱい。だけど、おばあちゃんのくれた赤いマントを着て出かけてみると…。ちょっとしたことでものの見え方は変わり、世界は広がります。男の子の心の成長が描かれた絵本です。

## 3 おやすみぞうちゃん



- ① 三浦太郎/作
- ② 講談社
- ③ 800円
- ④ E

のしのし、ぞうちゃんが元気に歩いています。あっ、ころんだ！だいじょうぶかな・・・？泣いてしまうかな・・・？

小さなこどもの泣いたり笑ったり、いそがしい毎日をやさしく見守るあたたかいまなざしを感じる幼児向け絵本。

## 4 おやすみなさいくまくん



- ① パッツィ・スキャリー/さく  
リチャード・スキャリー/え  
木坂涼/やく
- ② 好学社
- ③ 1400円
- ④ E

ちいさなくまくんをねかしつけようとしたおとうさんくま。かたぐるまして、ベットのある部屋にむかったけれど・・・あれあれ、くまくんがいなくなった？！

親子の信頼感にあふれるやりとりが楽しい、心が温かくなるお話です。

## 5 かあかあもうもう



- ① 丹治匠/さく
- ② こぐま社
- ③ 1200円
- ④ E

からすのうたは かあ かあ かあ。  
うしのうたは もう もう もう。  
テンポのよい繰り返しが心地よく、にぎやかな掛け合いが楽しい絵本です。子どもも大人も一緒になって大きな声で読んでほしい一冊です。

6 くまさんどこ？

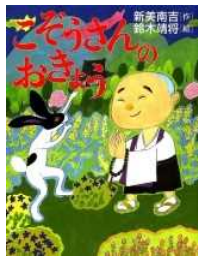


- ① ジョナサン・ベントレー/作  
林木林/訳
- ② 講談社
- ③ 1500円
- ④ E

「くまさん どこ？」家中、くまを探し回る男の子のそばにはいつも大きなくまさんの姿が…。ほら、そこにいるよと思いながら、最後まで読んでいくと…。

楽しいどんでん返しに親子でほっこりして、笑い合える一冊です。

7 こぞうさんのおきょう



- ① 新美南吉/作  
鈴木靖将/絵
- ② 新樹社
- ③ 1200円
- ④ E

お経を忘れてしまった小僧さんは、うさぎに教えてもらった歌を仏様の前で歌います。それを聞いた人々は目をぱちくりさせますが…。登場人物の優しい気持ちを感じることのできる、ユーモアにあふれた心温まる絵本です。

8 ごはんのじかん



- ① イェッカ・コップ/ぶん/え  
おーなり由子/やく
- ② ポプラ社
- ③ 1300円
- ④ E

遊びに夢中になって「ごはんいらない」なんて言う子は近くにいませんか？

そんな女の子のところに、「食べないならちょうだい」と、ワニとクマとオオカミがやってきました。一緒に楽しいごはんのじかんを過ごします。

9 ししまかしてください



- ① 林なつこ/作
- ② 教育画劇
- ③ 1300円
- ④ E

いろいろな動物に「ししま かしてください」とお願いして回ったぞうは、ついに立派なしまぞうになります。さて、それはいったい何のためだったのでしょうか。友達になるのに本当に大切なことは何なのかを考えさせられる絵本です。

10 どこかでだれかがねむくなる



- ① マリー・リン・レイ/詩  
クリスファー・サイラス・ニール/絵
- ② こうのすゆきこ/訳  
福音館書店
- ③ 1400円
- ④ E

一日の終わりのひととき、こんな風に夜の世界を想像してみるのも良いかと思います。静かな語り口でやさしく繰り返される「おやすみ」という言葉の中に、親から子どもへの限りない愛情が感じさせられる絵本です。

# 11 とびっきりのともだち



- ① イミ・ハスト/文  
イミ・ハスト/絵  
落合恵子/訳
- ② BL出版
- ③ 1400円
- ④ E

とびっきりの友達だったオスカーとの忘れられない思い出を抱えた少年が、子犬と触れ合ううちに少しずつ心を開いていきます。雨の中、子犬と見つめ合い、だっこする少年。雨のしずくのように、心の中へ少年の優しさが染みてきます。

# 12 どんないちにち



- ① くすのきしげのり/作  
たしろちさと/絵
- ② 廣済堂あかつき
- ③ 1600円
- ④ E

今日がどんな楽しい一日になるのか、わくわくしている子どもの希望に満ちた様子が描かれています。

清々しい朝の空気の中、街中に広がっていく「おはよう」の言葉が、人や社会への信頼感を感じさせます。

# 13 ぼくはかわです



- ① 植田真/作
- ② WAVE出版
- ③ 1500円
- ④ E

横長の本を開くと、画面いっぱいに、森と川が広がります。動物たちがやってきたり、鳥がやってきたり、川の視点から描かれた一日は、ゆったりのんびり楽しそう。読んでいるうちに、気持ちがゆったりのんびりしてくる一冊です。

# 14 まだかなまだかな



- ① 竹下文子/作  
えがらしみちこ/絵
- ② ポプラ社
- ③ 980円
- ④ E

ちいさなこどもたちが、「まだかな、まだかな」と、自分たちのお母さんが来てくれるのを待っています。大好きな人が呼んだら来てくれる、そんなうれしさが、優しい絵からも感じられます。親子の愛情に満ちた絵本です。

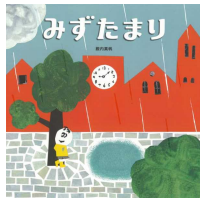
# 15 まーだだよ



- ① 間部香代/作  
ひろかわさえこ/絵
- ② 鈴木出版
- ③ 1200円
- ④ E

こぶたくんとお母さんがふたりでかくれんぼ。「まーだだよ」と隠れようとするたびに、そこにはお友達がいて…。最後はみんなでかくれんぼ。遊びながら、少しずつ世界を広げていくこぶた君の姿が愛らしく、温かい気持ちになります。

16 みずたまり



- ① 殿内真帆/作
- ② フレーベル館
- ③ 1200円
- ④ E

雨が上がって外に出ると、そこには水たまりができていました。「なにがみえるの？」と尋ねるふくちゃんに水たまりは毎日、見えたものを教えてくれます。

水たまりが見ているものは何だろうと親子で想像してみるのもいいですね。

17 みつけてくれる？



- ① 松田奈那子/作
- ② あかね書房
- ③ 1400円
- ④ E

赤ちゃんと一緒にお母さんが帰ってくる日、「まだ、おねえちゃんじゃないもん」と、はなちゃんはお母さんから隠れる場所を探し回ります。お姉ちゃんになることへの不安から喜びへと変化していく心の成長が描かれている一冊です。

18 みーんなにっこり  
いっしょにさわって



- ① 山岡ひかる/作・絵
- ② ひかりのくに
- ③ 680円
- ④ E

泣いているうさぎちゃんをみんなで、よしよし。怒っているさるくんをみんなで、こちょ、こちょ。読むだけでなく、実際に真似して、触って、ふれあい遊びを楽しみながら、思いやりの心も育むことができる絵本です。

19 やだやだベティ



- ① スティーブ・アントニー/作・絵  
平田明子/訳
- ② 鈴木出版
- ③ 1600円
- ④ E

ベティが見つけたおいしそうなバナナ。皮がむけなくて大泣きしていると、友達がやってきて助けてくれますが…。

何にでも「やだやだ」と言ってしまう時期の子どもの気持ちを、ユーモラスに描いた絵本です。

20 ゆっくりゆっくなまけものくん



- ① オムトモ/作・絵
- ② 鈴木出版
- ③ 1300円
- ④ E

高い高い木の上に住んでいるなまけものくん。ある日、みずあびをするために、ゆっくり木をおりていきます。無事に下までたどり着けるかな…？

本の形を活かした面白い絵本。最後のページは一気に広げて楽しみましょう。